

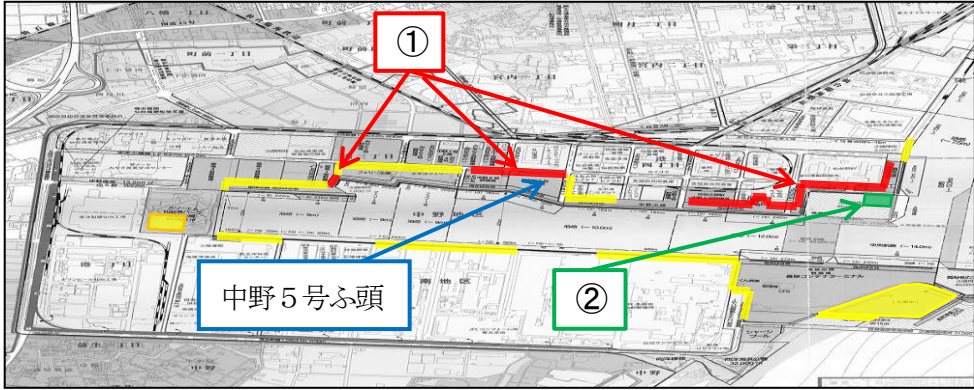


仙台塩釜港復興だより 第18号

— 港湾は人の心も結んでいます —

仙台港区で一部の工事が完了しました！

現在、以下の図の着色部分で工事が行われていますが、このうち①と②の工事が完了しました。



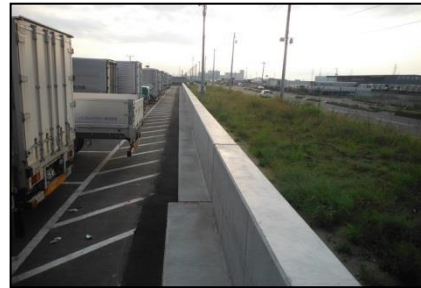
①[復興事業(防潮堤)]

仙台港区の防潮堤については、復興事業として建設工事を進めています。平成27年7月現在、①の区間で施工完了しました。他の区間についても随時工事を進めております。

着工前(H27年3月)



防潮堤施工完了(H27年7月)



中野5号ふ頭付近

②[高松ふ頭用地造成事業]

平成23年度から高松ふ頭用地造成事業が開始され、工事着工しておりますが、平成27年5月に高松ふ頭用地舗装工事が完了しました。

舗装工着工前(H26年12月)



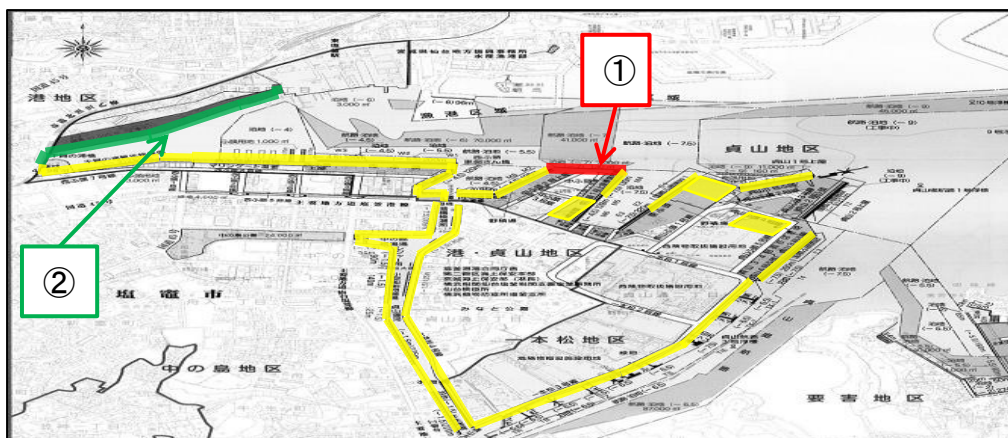
舗装工完了(H27年5月)



舗装された②の部分

塩釜港区（塩釜）で工事が着々と進んでいます！

現在、着色部分で工事が進んでおります。



①[災害復旧事業(中ふ頭前面さん橋外災害復旧工事)]

平成25年3月から工事が進められていた中ふ頭前面さん橋外災害復旧工事が、平成27年3月に完了しました。

着工前(H25年3月)



舗装工事完了(H27年3月)

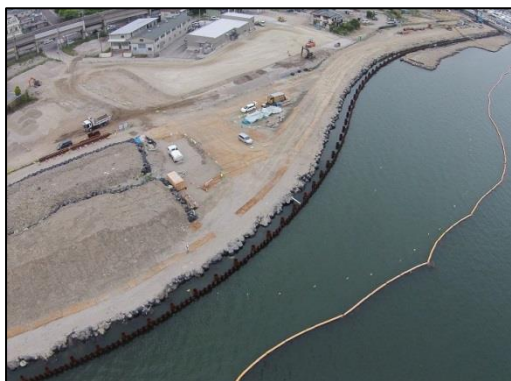


中ふ頭前面 (①)

②[復興事業(北浜防潮堤工事)]

復興事業である北浜防潮堤工事については、平成27年6月に鋼管杭や矢板の施工が完了するなど、着々と進んでおります。今後も、港湾利用者等との協議、調整を進めながら工事を進めて参ります。

施工区域航空写真(H27年7月)



鋼管杭・矢板施工完了(H27年6月)



北浜地区防潮堤

塩釜港区（七ヶ浜）で一部の工事が完了しました！

着色部分で災害復旧工事が進み、小浜防波堤の工事が完了しました。



〔災害復旧事業(吉田浜防波堤外災害復旧工事)〕

平成26年7月から、吉田浜防波堤外災害復旧工事が進められています。この工事のうち、平成27年6月に小浜防波堤の施工が完了しました。

着工前(H26年8月)



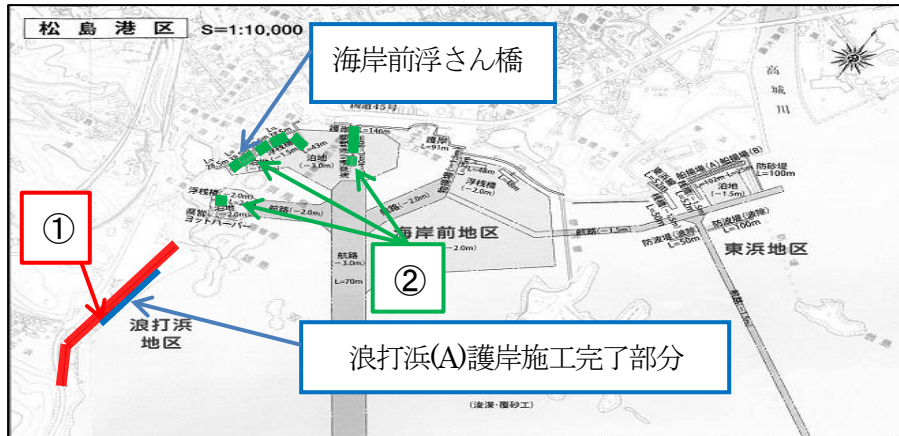
防波堤施工完了(H27年6月)



小浜防波堤

松島港区で一部工事が完了しました！

下図の①、②で工事が進んでおり、一部で工事施工が完了しました。



①[災害復旧事業(浪打浜(A)護岸災害復旧工事)]

平成26年3月から工事が進められている浪打浜(A)護岸災害復旧工事では、浪打浜護岸の復旧工事が進められており、平成27年7月に一部施工が完了しました。

着工前(H26年3月)



護岸施工完了(H27年7月)

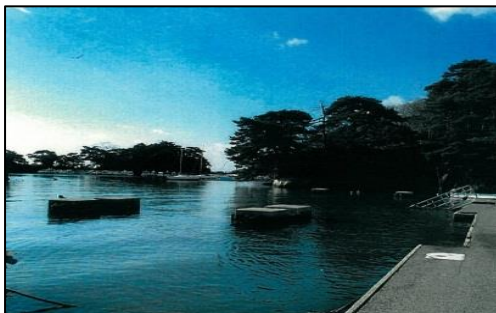


浪打浜(A)護岸施工完了部分

②[災害復旧事業(海岸前浮さん橋外災害復旧工事)]

平成25年10月から工事を進めていた海岸前浮さん橋外災害復旧工事が完了しました。津波によって流されてしまった浮さん橋の復旧工事及び補修工事を行っていましたが、平成27年3月に完了しました。

着工前(H25年11月)



浮さん橋工事・据付完了(H27年3月)



海岸前浮さん橋

新規コンテナ定期航路が就航しました！

平成27年6月8日、月に1度、北米西岸と仙台港とを結ぶ航路が就航しました。

今回は、ウエストウッド SHIPPING ラインズ ジャパン株式会社が運航する WESTWOOD RAINIER（ウエストウッド・レーニア）が高砂2号ふ頭に着岸し、カナダからのコンテナ58本を陸揚げした後、94本を積み込みました。

新規航路は、北米西岸の港に寄港した後、バンクーバー港から仙台港に寄港し、日本国内他港及び韓国釜山港を経て北米西岸に戻るといふ、仙台塩釜港が日本のファーストポートとなる輸入に適した航路です。

これにより、仙台塩釜港の外貿コンテナ航路は、北米航路（2航路週1便・月1便）、中国／韓国航路（3航路週3便）、韓国航路（週1便）の6航路

となり、海上輸送の選択肢が広がることで、仙台塩釜港を利用する企業の利便性向上や物流コストの削減、国際競争力の強化が期待されます。



● 6月8日に行われたセレモニーの様子

小学生・中学生のみなさんが仙台港に見学に来てくれました！

5月15日には福島県小野町立小野中学校2年生のみなさんが、6月16日には仙台市立七郷小学校3年生のみなさんが、仙台港の施設の見学に来てくれました。

各日程ともにフェリーターミナルと高砂コンテナターミナルを仙台塩釜港事務所の職員が案内し、仙台港の役割や港に停泊している貨物船などについて説明しました。みなさんは真剣に職員の説明を聞きながら、必死にメモをとっていました。なかには、職員の問いかけに積極的に答えたり、質問をしてくれた人もいました。

生徒の皆さんからは、コンテナターミナルのクレーンやストラドルキャリアの迫力がすごかった、フェリーの大きさに驚いた、といった感想が寄せられました。

各日程ともに1時間30分という短い時間でしたが、とても充実した時間を過ごさせていただきました。

見学者のみなさん、ありがとうございました。



● 5月15日の小野中学校見学時の様子



● 6月16日の七郷小学校見学時の様子

 仙台塩釜港で働く職員のみなさん

本年度も仙台塩釜港で働く職員の方々を紹介してまいります。今回は、4月から6月まで東京都から応援に来ていただいた「柳瀬 慎司さん」です。そして、今年の4月に宮城県職員として採用され、仙台塩釜港湾事務所に新たに配属された「庄子 憲史さん」を紹介します。

「柳瀬 慎司さん」(東京都応援職員)

平成27年4月から6月末までの3ヶ月間、東京都から宮城県仙台塩釜港湾事務所に派遣となりました柳瀬です。

東京都では港湾局に在籍しており、これまで国際海上コンテナターミナル事業の工事監督業務や、港湾道路の維持補修に係る設計・工事監督等を担当していました。こちらへ派遣されてからは護岸の復旧工事等の工事監督を担当させていただいています。

こちらで実際に業務に携わって分かったことですが、背後地の利用や地域住民との調整などに時間がかかるため、工事が思うように進まないことが多く非常にもどかしい気持ちを感じています。

先日、県内の被災地と復興事業の現状を見学する機会をいただきました。震災当初、テレビ等で被害の大きい地域を何度も目にしていましたが、実際に自分の目で見てみると、改めて被害の大きさ、そして復興事業はまだまだ先が長いという事を改めて認識する事が出来ました。それと同時に、多くの方が全力で復興のために努力をしていることも肌で感じる事が出来ました。

3ヶ月という短い期間ではありますが、こちらで復興事業に携われたことは、私にとって非常に貴重な経験だと思います。

東京に戻ってからも、こちらで経験したことを糧とし、業務に携わる中で活用していけるように頑張りたいと思います。



●イーグルスのユニフォームを着た柳瀬さん

「庄子 憲史さん」(平成27年度採用職員)

今年4月に配属されました、庄子と申します。主に塩釜港区について、公共ふ頭に係留させる船の調整や許可手続きに関する業務を行っています。

係留の調整は、複数の要因が絡むため難しいです。船によって係留できるふ頭が限られるほか、海が荒れた際にはふ頭への避難を希望する船で混雑します。また、公共ふ頭における災害復旧工事や防潮堤工事が続いており、船の係留箇所が限られてしまいます。ですので、来航する船の特徴、ふ頭の最新の整備状況を常に把握しなければなりません。

その他にも、港湾事務所で管理している道路や施設で事故等があった際は現場に赴いて迅速に対応する必要があります。4月以降にも何件か発生しましたが、その度に所内のチームワークの凄さに驚かされます。

慣れない業務に悪戦苦闘する毎日ですが、先輩の指導のもと早く仕事を覚え、港を利用される皆様や震災からの復旧・復興の力となれるように日々精進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。



●塩釜神社を訪れたときの庄子さん

編集事務局

宮城県仙台塩釜港湾事務所 編集委員

〒983-0001

仙台市宮城野区港三丁目1-3 アクセル5階

TEL 022-254-3132

FAX 022-254-3136

E-mail: sdsgkowns@pref.miyagi.jp